

4月より「商品開発ラボ」 本格稼働 「食のSPA」の高度化

さらなるおいしさの追求、開発サイクルの短縮化 目指し

「久世福商店」、「St. Cousair（サンクゼール）」、「MeKEL（メケル）」などの専門店を全国に約170店舗展開している、食品製造小売企業（食品SPA）の株式会社サンクゼール（本社：長野県飯綱町/代表取締役社長：久世良太）は、2024年4月より、信濃町オフィス（長野県上水内郡信濃町）に新設した商品開発ラボを本格稼働いたします。さらなるおいしさの追求や、開発サイクルの短縮化をはかり、食のSPA事業モデルを強化します。

企画開発力の強化

サンクゼールは「愛と喜びのある食卓をいつまでも」をコーポレートスローガンに掲げ、「食のSPA」を展開する食品製造販売事業を行っています。「食のSPA」の強みは、マーケティング、商品の企画開発、製造、販売までの一連のプロセスを自社で管理可能な点にあります。全国170を超える店舗、自社開発アプリ及び独自のファンコミュニティを通じて直接取得したお客様のお声を素早く商品開発や施策に反映し、お客様の各ブランドに対するロイヤリティ向上に繋げることは「食のSPA」にとって最も重要な要素です。

商品開発ラボの導入

2024年4月に商品開発ラボの本格稼働を開始しました。信濃町オフィスの一角に、従来のテストキッチンの約2倍の広さのラボに複数の食品加工機器を導入しました。これにより、商品化までのスピードを上げると共に、おいしさの追求を目的とした既存品のリニューアル、新商品や季節商品の開発、おいしさを損なわずに製造原価を低減するレシピ開発を強化します。お客様の商品に対するおいしさの評価は常に変化しています。既存品のリニューアルと新商品開発の両輪で、常に今よりおいしい商品を目指してまいります。

開発人員の強化

サンクゼールでは、商品開発チームの充実にも取り組んでおり、現在、2022年と比べて2倍の人員が商品開発に関わっています。和食の料理人、スーパーマーケットの商品開発担当、フレンチレストランの料理人、介護職の開発経験のあるメンバー等多様なバックグラウンドを持つ人員を補強しています。また、商品開発経験の豊富な外部顧問と連携し、価値と価格のバランスの取れた魅力的な商品開発を実現しています。

商品開発ラボの導入により、お客様のニーズに沿った、品質の高いおいしい商品をお客様にお届けし「愛と喜びのある食卓」を実現してまいります。

